



▲'98年 カラコルム5,180m 峰初登頂



▲毎年10月に開催される山での集会(2002年)

# 50<sup>th</sup> Anniversary

創立より、いまへ  
受け継ぐスピリッツ

## クラブつながりレーション

## 体育会 山岳部

### 78年の歴史を経て、新しい山岳部へ 自然との対話を楽しみたい人、求む

昭和の初期から現在まで連続と続く部報、会報などの発行は、実に計92冊、延べ5,500ページにもおよび、90歳を超えるOBから20代の若者までの交流の場を提供し続ける一方、この機関誌は日本山岳史上貴重な文献となっている。

甲南山岳部の前身である旧制高等学校の山岳部が発足したのは1925年、大正14年のことだった。新制大学での創部が1952年だから、27年もの「前史」をもっていることになる。日本山岳史に名を残す人材を輩出し、数々の登攀ルートを開拓したその活動は、前史というにはあまりに華々しい。

旧制の鷲尾顕さん(32→40在籍)は、その強さの秘密は7年間の長い活動期間と、先輩後輩や現役・OBの垣根を越えた友情を育む自由な精神にあったという。上級生でもあだ名で呼ぶ和気あいあいとした雰囲気、わけへだてがなく、先輩がへばった時は先輩が、先輩の時は先輩が荷物を持ち、カバーした。損得なしの友情が今も続いている。阪神淡路大震災の時には、96年卒の松成健さんたちが先輩諸氏の身を案じ、バイクで飲料水を届けた。松成さんは多くを語らないが、山岳部の伝統が脈々と受け継がれていることをうかがわせるエピソードだ。

山岳部のもう一つの強さの源であり、活動の骨格を形づくったのが、芦屋川上流のロックガーデンと六甲山系の存在だったと語るのは新制になったばかりの54年に入学した雨宮宏光さんだ。部員たちは体力づくりと併行してロックガーデンでロッククライミングの練習をし、土日には1泊2日の山行を繰り返した。61年卒の牧野宏さんは、年4回の合宿を含めると年に約120日、ほとんど山と関わっていたという。バイトする時間もなく部活動と勉強の文武両道の生活だった。

また当時、既に国内には未踏の山はほとんどなくなっていたから、部員たちの目が海外、それ

もヒマラヤへと向くのは当然だった。64卒の武田雄三さん、村上与利一さんの時代には、海外を想定し、北海道の利尻まで遠征。ベースキャンプ、前進キャンプを経て、最後にアタックキャンプから頂上を目指すポラメッドに基づいた練習を取り入れた。旧制の山岳部OBで元甲南学園理事長でもあった小川守正さんは「登山は経営だ」と言われますが、大人数で計画的に山頂にアプローチするのは、準備段階や資金の問題も含め、まさに経営ですね」と語る。

そしてついに、ヒマラヤに挑む日がやってくる。南里章二さん(70卒)は77年の第1次キシュトワール・ヒマラヤへ隊長として登山したが登頂は叶わず、その志を継いだ大森雅宏さん(78卒)が隊長となり2年後の79年、ついに6050mのラルン峰の頂に立つ。甲南山岳部・山岳会が、世界という檯舞台に立った瞬間だった。

ヒマラヤ登攀というピークを迎えた後、山岳部の活動は、時代とともに変遷している。山を、自然を楽しむ、自分の心や体と対話するスタイルへとすそ野を広げる。その一例が90年代後半の松成健さんの頃に注目されはじめた、ポルトやハーケンを使わず素手で難所を登っていくフリークライミングだ。人工的なコースで行う競技もありインターハイの種目にもなっている。かつては数十名の部員でにぎわったのだが、現在は他大学の山岳部と同様に部員減に悩んでいる。目下アクティブ部員はゼロだが、山や自然に対する認識が変わりつつある時代の潮流を考えると、自然や自分自身と対話する登山の楽しみが受け入れられる素地は確実に広がっている。登山の新しいスタイルを拓く新人が現れるのも時間の問題だろう。

体育会山岳部ホームページ ▶ <http://homepage2.nifty.com/konan-alpin/>

【創部】1925年  
【部員数】2人(2003年7月現在)  
【主な実績】

|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 1923 | 旧制甲南山高等学校山岳部の記録                  |
| 1925 | 旧制7年制・甲南山高等学校山岳部                 |
| 1951 | 発足(小倉単独行)・北穂高滝谷(単独行)・常念・槍ヶ岳・立山   |
| 1952 | 縦走(関西学生山岳連盟・AVK)・結成・善次郎より西穂高単独行、 |
| 1953 | 剣岳早月尾根・ハツ峰下半分・錦                  |
| 1954 | 杖行(川・錫杖岳・烏帽子岩・初登攀)               |
| 1955 | ／甲南山岳部発足・横尾・雪中露                  |
| 1956 | 営より北穂高・横尾・雪中露                    |
| 1957 | より奥穂高・穂高ジャンダルム・飛                 |
| 1958 | 驛尾根・初登攀など初登攀20数                  |
| 1959 | 件、多くは現在も「甲南ルート」と                 |
| 1960 | して知られている。槍ヶ岳北穂尾                  |
| 1961 | 根・関西学生山岳連盟神戸セクシ                  |
| 1962 | ョン合同合宿                           |
| 1963 | 甲南山岳部発足、甲南山岳                     |
| 1964 | 会物故者追悼レリーフ設置、日本                  |
| 1965 | 山岳会マナス踏査隊・今西錦司                   |
| 1966 | 隊長にOB参加                          |
| 1967 | 日本山岳会第一次マナス登山隊                   |
| 1968 | (三田幸夫隊長にOB参加)・大学                 |
| 1969 | 山岳部 第1回合宿(鍋・立山)                  |
| 1970 | 鍋・小窓尾根合宿・遭難事故                    |
| 1971 | 馬場島・奥大目尾根・奥大目尾根                  |
| 1972 | 雪期初登攀、唐松岳・ダイレクト                  |
| 1973 | ツツ・初登攀                           |
| 1974 | 白馬・北山・後完登、雄山第3尾根                 |
| 1975 | 左方・フランケ                          |
| 1976 | 杓子東壁B尾根・D尾根、大窓の                  |
| 1977 | 頭白・秋川・初登攀                        |
| 1978 | 雄山第3尾根P1・立命大ルート・                 |
| 1979 | 同甲南新ルート、前穂高4峰・新村・                |
| 1980 | 北条ルート                            |
| 1981 | 利尻島合宿                            |
| 1982 | ガネツシ・ヒール遠征予備調査                   |
| 1983 | カトマンス行                           |
| 1984 | 厳冬期・穂高滝谷第1尾根                     |
| 1985 | カナダ・ロッキー合宿                       |
| 1986 | インド・ザンスカール・小チベット・                |
| 1987 | ラドックからヒマラヤ越え                     |
| 1988 | 第1次キシュトワール・ヒマラヤ登                 |
| 1989 | 山・インド・ラダック・ザンスカール                |
| 1990 | 調査行                              |
| 1991 | 第2次キシュトワール・ヒマラヤ登山                |
| 1992 | 奥鐘山西壁中央ルンゼ単独登攀                   |
| 1993 | アフリカ・ネパール遠征                      |
| 1994 | カラコルム5,180m峰初登頂                  |
| 1995 | パキスタン・スワート・ヒンズイクシ                |
| 1996 | 踏査                               |
| 1997 | ミンタカ峠・キルギス峠・オールド                 |
| 1998 | シルクロード調査                         |
| 1999 | チベット偵察行                          |

取材に出席された方／鷲尾顕さん(40)旧制高校文卒、雨宮宏光さん(58)経卒、牧野宏さん(61)経卒、武田雄三さん(64)経卒、村上与利さん(64)経卒、南里章二さん(70)理卒、甲南山高等学校山岳部・副顧問、大森雅宏さん(78)文卒、松成健さん(96)文卒

中国チベット自治区

ヤルツァンポ河

クビ・カン

ネパール

カタマンズ ● エベレスト

ブータン王国

ガンジス河

インド

バングラデシュ人民共和国



山岳部谷さんらが、ヒマラヤの  
未踏峰クビ・カンリに初登頂！

度ハスギンゾで休み、よいよサシトヘツタツク。

この登録は、2007年8月5日に日本を出発し、ネパールのカトマンズで準備を整えます。普通通荷荷物運びのシエルもこのゾで準備が今回復たは得得だ。全部自分たでやろと決めて取り組まはた。と谷さ。また、2000mを超えと頭痛吐き気なの高高度障害が現れてくるため、登頂は慎重に進めなければなら。ハスギンゾを待て、4000mに体を慣ら。高地順にハスギンゾを。8月12日よりカチに登はん活動を開始しかし、急に登りよるわではあ。ん、キャンプ1を設置、さらに上ハスギン2を設置。度ハスギンゾで休み、よいよサシトヘツタツク。



谷さんの登山歴

[illegible]

「酸素を薄い高地に活動するのは本当で過飽和ピーク後のように息が切れるときも、10歩進んだら立ち止まる。その後また息が切れるときまで、100mを全力で走った。5回呼吸しなければならぬような状況です。すから、少しづつ拠点を築き上げていくわけです」。

そして9月14日、谷々なはずなのに未読の頭が眩まってきた。「これだけで世界の誰も知らない眺めを見ている」というのが爽快でたまになんか澄んでいるときは天良良といふのに、頂上には天気が悪くなってしまいが残念」。甲南の岳部は現在員が6名活動しており、クララとイミング施設もない。新人生の動機をさしおいて状況で「二枚布」をききのけ部に活用させたいくらいに思えばとは合点の想を語ってくれました。

頂上で記念撮影する谷さん。直前から天候が悪くなり、下りは雪などに視界を遮られるホワイトアウトに苦しんだそうです。  
(写真提供:クビ・ツァンボ源流域学術登山隊2007)



甲南Today No.29 2008 JAN  
CONTENTS

## 2 What's **new** Konan

- 2 News,1** 山岳部 谷さんらが、ヒマラヤの  
未踏峰クビ・カンリに初登頂!
- 3 News,2** 卒業生の中西香爾、岡田節人  
両氏が文化勲章受章!
- 5 News,3** 子どもから高齢者まで、簡単に体をチェックできる  
フィットネステストを考案
- 



- 7 未来とリレーションする KONAN VISION**
- 7 社会へ踏み出す甲南ローヤーたち
- 9 新司法試験に、4人に1人が合格  
関西のロースクールでは9位の実績

- 11 高・中・ビックス テニス部全国大会2連覇/ブラスアンサンブル部「スチューデント・ジャズ・フェスティバル」優勝  
11 さらなる連覇をめざし、新たな伝統を築いていく  
12 演奏を楽しむことで、聴く人までもハッピーに
- 13 ブラス甲南学園トウレエヌだより  
ブラス甲南学園トウレエヌの新たな出発



- 15 なるほど甲南7カデミア  
社会の難題の解決法は、古典に学べ!?  
文学部人間科学科 文学博士 西 欣也准教授
- 17 こちら甲南特搜部 皆様から寄せられた疑問を徹底調査  
今年も盛り上がった摂津祭  
年に一度のお祭りはどうやって作られているの?
- 19 創部から未来へ 甲南クラブステップ〈漕艇部〉  
59年を超える歴史に、一艇ありて、一人なし



- 21 IT's KONAN STYLE**  
16年の甲南生活がくれたのは、いつまでも続く絆  
小笠原流煎茶道 若宗匠 小笠原 秀邦
- 23 甲南フォーラム**

表紙の絵 ● 西井 義晃 画  
「時計台」  
西井 義晃さん プロフィール  
1961年甲南大学経済学部卒業  
元自由美術会員  
次のURLで作品集をご覧ください  
<http://webgarou.net>



# 鳩杖

鳩杖とはつて  
 二号館1階学園史資料展示室にあるこの杖は、学園の創立者平生飢三郎先生  
 が1945年に枢密院顧問官の功績により賜ったものです。学園の歴史を知っ  
 ていただき、平生先生の建学の精神を継承したいと願い、甲友のコラム欄の名  
 を引き継ぎました。

入学すると英国のパブリック・スクール  
 がモデルだといわれた／英国の貴族学  
 校にはその学校限りの方言があるとい  
 う／私の時代には本校限りの方言があ  
 った／「むさる」が「怒つてゐる」／「冗談  
 や思たらあいつほんまにむさつとる」と  
 か／蒸し器がぼつぽと湯気をあげている  
 イメージがあつて／ユーモラスな言葉で  
 今も仲間うちでは使う／「チル」はいつ  
 せいに教室を空にすること／先生も心  
 得て校庭にぶらぶらしているのを集めて  
 裏山で授業した／一人だけ断固チラな  
 いのがいて判事になつた／何々が来てる」  
 「来てへん」とは私の学年だけの方言か  
 もしれぬ／今日はいいい天気や「チリ」  
 来とうよ／「そんなこと」やり／来て  
 へん／あいついつも来るの遅い／「待ち」  
 来てへん、帰ろ、帰ろ／意味がおわかり  
 だらうか／それをするゑしないのが  
 TPOに適っている」ということ／発音  
 はのんびり／どこかひとこと／むさつて  
 も頭に来るのは野暮／まず暴力もイジ  
 メもなかった。



1942年卒業アルバムより



中井久夫教授

文学部教授・神戸大学名誉教授・  
 医学博士。昭和9年奈良県生まれ。  
 甲南中学・甲南高校を経て昭和34  
 年京都大学医学部卒。精神医学  
 者として治療と研究に従事する。  
 平成9年4月から文学部人間科  
 学科教授。『精神医学の経験』全  
 8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。

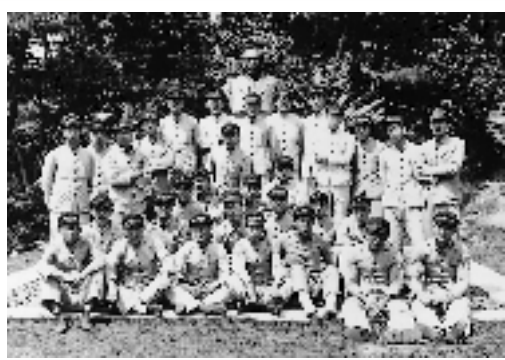


インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>

## 鳩杖

鳩杖はとらふ●1号館1階学園史資料展示室にあるこの杖は、学園の創立者平生創三郎先生が、1945年に枢密院顧問官の功績により賜ったものです。

「甲南生の弱いところ何やろ」／皆の意見は「競争に加わるのが苦手」／同じ目標や地位をめざしてライバルとしのぎを削らない／弱いというより甲南の美学だった／ライバルがないからギスギスしなかった／「ライバル」という言葉は死語だった／学校も成績と席次を発表しない／クラスでも話題にならぬ／おぬしやるな」という尊敬／あいつには一目置く」という気持ち／面白い奴もユニークな道化にも光が当たって／かつての恩師も懐かしがられる／競争の代わりに独創に向かうのか／卒業生の自営業と学者と医者／率は旧制高校切つてだ／発明で有名な甲南カメラはその一例／科学者も目立つ／戦前から米国の大学教授が何人も出た／私のクラスからも出た／万舌まんず」という／百舌もずの百倍しゃべるからだ／アダナもそんなユニークなのがウケた／この空気が本来の個性尊重ではないか／米国の友は今、そんな学校を廃止したのは占領政策の大間違いだ」と認める。



1952年(昭和27年)卒業アルバムより



中井 久夫教授

文学部教授・神戸大学名誉教授・医学博士、昭和9年奈良県生まれ、甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。『精神医学の経験』全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。



インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>



# 鳩杖

鳩杖はとうる●1号館1階学園史資料展示室にあるこの杖は、学園の創立者平生創三郎先生が、1945年に枢密院顧問官の功績により賜ったものです。

尋常科を高等科の教授が教えた／今なら大学教養科目の教師／ぜいたくな話／何かが違った／勉強嫌いにも学問の香気が伝わった／日本文法では時枝文法という別の考え方があったと漏らされた／いろいろな考え方があったのだ／これを知る大切さ／地理の朝永教授は一年間、島の一年は「アフリカ」一筋／第一声が本質を突いていた、どんな島にも山陽と山陰がある「アフリカは知られることもっとも古くもっとも少ない大陸である」／国語の本田義憲教授はいきなり窓辺に寄って「空が青い。かなしいですねー」／わけがわからなくてもその感銘は今に残る／新高二回卒業生は平成十四年のクラス会に先生をお招きして講義を再演してもらった／当時二十六歳今八十歳の先生は中学二年生の私たちに配られたプリントを保存してられた／コピーをみてみな息を呑んだ／感動／藤村の詩「初恋」と柳田国男の「海南小記」／新しい教室に白髪の先生の講義が響き渡った。



旧制高等学校時代／正門の鉄扉につけられた徽章(きしょう)



## 中井久夫教授

文学部教授・神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。『精神医学の経験』全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。



インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>

# 鳩杖



恩師物語を続ける／夢みたいな授業と思う  
と大間違い／片々たる知識以上のものが生涯  
残ったと大勢が言う／実戦でもなかなかだった  
／留年二回目になると転校か再留年かを  
選択させられる／転校組が行き先の学校で  
首席になった話はいくつもある／ドンコこと  
小林教授の英語は二年間でジェラントや接統  
法までやった／東大哲学科卒・ドイツ哲学全  
盛時代に英国論理分析哲学を専攻した先駆  
者／隠し味には論理分析哲学があつたのか／  
ドンコズ・イングリッシュだけで一生間に合った  
と級友は言う／数学は「解析Ⅰ」「解析Ⅱ」微  
積」を尋常科で終えた／米国では大学で微  
積をやると呆れていた／その米国が「進学適  
性検査」をやった／センターテストの祖先／だ  
が新作の人工言語の文を与えて文法を探ら  
せるなど面白い／甲南のお得意／新高二回は  
全国二位／次の学年は全国二位でなかったか／  
それでいてずいぶん羽目を外しもした／教授  
方も困らされた生徒のことを懐かしがる。

## 中井 久夫 教授

文学部教授・神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。『精神医学の経験』全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。



鳩杖に対するご意見・ご感想をいただきましたので紹介します。

- 毎回内容が充実していて含蓄深いものがあり、たいへん興味深く読んでいます。今後も連載をお願いします。(昭和35年卒・男)
- いまこのように感動させられる講義がありますか？学生の態度にもよるのでしょうか。(昭和17年卒・男)
- 鳩杖を読むと甲南を身近に感じます。(昭和52年卒・男)

## 「恩賜の杖」(鳩杖はとづえ)



鳩杖は、辞書によれば 80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生飢三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫教授に当時の様子を書き下ろしていただいています。



インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>





「恩賜の杖」(鳩杖はとづえ)

鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生飢三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫教授に当時の様子を書き下ろしていただいています。

# 鳩杖



電車はいつも満員だった／普通は二両／急行は三両／何時の電車の何両目には変態オジサンが出るという噂も／尋常科二、二年はピーピー声を響かせる／三年になると静かになる／一緒に電車に乗る女学生に目が行きはじめた証拠／ほとんどの名前を皆知っている／妹や姪がその学校に行っているからだ／話しかける勇気はないけれど／誰か一人を守護の女神のように思っていた／呼び名だけは「メッチェン」といつぱしだった／会えた日はハッピーだった／四年間同じ電車の同じ扉に乗って口も聞かずにそのままというケースも／相手は知らないはず／いや気づいて知らんぷりをしていたかも／私たちの名前も知れていたらしい／やはり兄か何かからのルートだ／文化祭には普段見知った顔がすましていた／演壇に立つたら眼下第一列にということも／しかし結婚はもちろん交際に至ったという話は知らない／何と純情なと今では思う／皆が皆純情ではなかったが／そこは武士の情け



1942年卒業アルバムより

鳩杖に対する「意見」ご感想をいただきましたのでご紹介いたします。  
●著者に惹かれ連載を楽しみにしています。次回は何が飛び出すことか!? (60年卒・男)

中井久夫教授  
文学部教授・神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。『精神医学の経緯』全8巻他著。翻訳書は多岐にわたる。



インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>



「恩賜の杖」(鳩杖はとづえ)

鳩杖は、辞書によれば 80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生飢三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫教授に当時の様子を書き下ろしていただいています。

# 鳩杖



男子校だった甲南にも少女たちがいた／事務室に実験室に図書館に／立ち寄るたびに顔を覚え親しみができる／高等科の先輩たちはマントを翻して尋常科には神々だったが／時には神サマも恋愛をする／テニスが縁で実験室の少女と結婚した先輩は／今も幸福なカプルでおられるとか／今は学会の大立物の失恋話も聞いた／尋常科にはオネエサマ／あちらからはかわいい？坊やだった／図書館のアツチヤンは色白のきれいな人／前髪をおでこに垂らし／愛嬌よしで誰にも親切／九鬼文庫もそつとのぞかしてくれ／見つくろいで新刊書を書店が運び込むと見せてくれた／オウエルの「一九八四年」もそつと読んだ／英国の造船家の日本軍艦批判記事も覚えている／戦争がなければ造船家になったかった私だからだ／このＹさんはずっと甲南に勤めとおしたが／私が甲南に戻った時には世を去っておられた／私は寂寥を覚えた／一度再会してお世話になったお礼を言っておきたかった



1942年卒業アルバムより

鳩杖に対する「意見」ご感想をいただきましたので「紹介」します。  
● 毎回、私の甲南在学中の思い出に触れられる内容で、懐かしく読ませてもらっています。(50年卒・男)

中井久夫教授  
文学部教授・神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。『精神医学の経緯』全8巻他、著・訳書は多岐にわたる。



インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>





「恩賜の杖」(鳩杖はとづえ)

鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生飢三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫教授に当時の様子を書き下ろしていただいています。

# 鳩杖



平生先生とはどういう存在か／敗戦直後に亡くなられて／その数カ月後に入学した私の学年は温容に接していない／岩崎校長代理の入学祝辞で「個性重視」「知育・徳育・体育を等しく重視」という説明／要するに「ガリ勉」しなくていいのかと受け取った／今思えば個性と知・徳・体の釣り合いとは補い合つて／豊かな人生を約束する／よい意味での、高度の平凡性」とわかる／平生先生の甲南学園における意味は／どういう存在で「ない」かを考えるとよい／甲南には宗教色がない／あまりに高邁な教育理念は窮屈だ／創立者が崇高すぎるのどうか／軽口一つ言えない／限定しすぎは排他的だ／実学的なのは専門学校だ／経営本位は誇りが持てない／たまたま入学式の日に別の大学に行った／式終えて講堂から出てくる新入生の列に突進する入部勧誘／体を張って阻止する職員／甲南では部ののぼりと机と椅子／来るまで待とうの姿勢／傍の木立に先生はおられる／等身大の胸像となつて／仰ぎみる位置でなく／ひっそりと凹地の中に／頭に白い鳥の糞を載せて穏やかに。



1937年平生飢三郎寿像除幕式

鳩杖に対する「意見」ご感想をいただきましたのでご紹介します。

● 中井先生のコラムはすいぶん前の青春時代のことを書いておられますが、新鮮でロマンに満ちているのはなぜでしょう？(75年卒・男)

● 読めば何となく先生の人間味を感じ、甲南の卒業生が共通して持つ何かを感じます。(65年卒・男)

## 中井久夫教授



文学部教授・神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。『精神医学の経緯』全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。



インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>



「恩賜の杖」(鳩杖はとづえ)

鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生飢三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄に「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫教授に当時の様子を書き下ろしていただいています。

# 鳩杖



平生先生のお人柄は？／めざとい／思いがけない発想が身近な体験から生まれる／先駆的な事業に次々手を染めてゆく／韓国税関勤務が卒業後最初の履歴だ／苦手な字を書かなくてよい仕事だからと／個性尊重はご自分の悪筆からとこれはジョークか／わが国海上災害保険の開拓者／さて川崎の社員となつて阪神間に／折から「阪神間」文化の建設中／その子弟教育が重要不可欠だ／そこで甲南学園建設／入院先の夫人が容体急変の不幸／院長不在の言語道断／そうだ臨床中心の病院をと甲南病院設立／東北大学の医師団を招待／東北大学医師がなお誇りに思うこと／めまぐるしい履歴は断れぬお人柄かも／やる気がすぐ出て発想が湧くのか／手早い仕事ぶり／海外入院中に四十日余で大部の自叙伝／七十近くの話／じつとしてられない人／イラチの気？／だが何よりも独自の発想と現実能力／幼年学校廃止を主張／世間を知らぬ十三歳入学で／独善將軍の大温床／無謀な戦争の大原因／何たる勇氣の文部大臣／敗戦後にぜひ必要な人だった／国のためにも甲南にとつても。

## TOPICS

### 平生先生の五女、富士さんの名前がついた椿があります

カンツバキ ツバキ属 学名: Camellia sasanqua cv. Fujikoana

平生記念館に咲くカンツバキは、「原色 牧野植物大図鑑」で有名な理學博士牧野富太郎先生が、昭和の始め頃、平生邸(当時)を訪れたとき、門から玄関に通じる道の片側に低い垣根のように植えられたこのカンツバキに目をとめられ、まだ学名がついていないことから、そのとき庭を案内された木村(旧姓平生)富士さんの名をとり、Camellia sasanqua cv. Fujikoanaと命名されました。現在仙台にお住まいの木村富士さんのお宅にも、ここから株分けされたカンツバキが咲くそうですが、平生記念館のものは、平生邸を偲び、また、この花の命名の元になった木として、大切に保存していきたいと、この度、案内板を設けました。近くにお越しの際には、是非ご覧ください。開花は、12～2月です。



### 中井久夫教授



文学部教授・神戸大学名誉教授・医学博士、昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授、『精神医学の経緯』全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。



インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>





「恩賜の杖」(鳩杖はとづえ)

鳩杖は、辞書によれば 80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生飢三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫教授に当時の様子を書き下ろしていただいています。

## 鳩杖



平生先生とは何者か／実業家か／たしかに新分野の開拓者／だが富の追求者か／財も豪邸も残さず／夫人は常に三等車とわが祖母は言ふ／明治の政商に代わる自由人起業家／建て直しの達人／甲南学園と阪神間文化と共に大正デモクラシーの申し子／気骨は明治人か／明治の混乱期に岐阜県に生まれ／志を立てて／東京に新時代の教育を求める／が立身出世派でなく／自由を求めて韓国の税関／そこで自国民に便宜図らぬけじめ／東京海上火災で社命の接待に社服の詰め襟で出席の倫理家／愚直な職務忠実に似て非／次第に天賦の才が現れ／自分で問題を立て自分で現実的解決／すべてが根本は同じ問題／そういう意味の一貫性／常識人の陰に自由人／違和感と孤独／内面の葛藤もあろう／そこからの自己修養／それが教育への情熱の源泉か／生涯の自己規定は教育者だった／晩年川崎社長から甲南校長に／少年時への郷愁か／生徒との昼食／昭和の官僚は七年制高校を敵視／甲南を守るためかも／最晩年は文相・枢密顧問官／孤独な愛国者／敗戦直後いかに思われて世を去られたか。



貴族院議員 平生飢三郎先生



中井久夫教授

神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職、4月より「兵庫県こころのケアセンター」所長に就任。『精神医学の経験』全8巻他著・翻訳書は多岐にわたる。



インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>





「恩賜の杖」(鳩杖はとづえ)

鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生汎三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいています。

# 鳩杖



半世紀前の甲南案内／阪神風水害の記憶なお／「細雪」に水とたたかう甲南生の姿／通学路は未舗装の水みち／道に石／小屋大のもあり／斜面の敷地を埋めた土砂／盛り上げて今の平らかな姿に／本館前に露天のバスケット場／チーク材をバネが支えて東洋一／観覧席の背に老柳の列／その南に藤棚噴水ベンチ／西のテニスコートは伝説の名選手を生んだ／迷彩残る本館の甲南式／塔屋に無線班／二階は教員室／大辞典にかがむ先生方／生徒は総勢八百名／それでも喧しい東館は尋常科／「先生来襲！」と見張りが叫び／扉の上に黒板消し／一階は図書館／堂々の数万冊／九鬼文庫は豪華本九千冊／オーク材の本棚の森／西の高等科は／一階ホールに煙濤々／火鉢にシケモク／塩見講堂での音楽授業／J・I・R・Iの叱声に命が縮むが／文化祭には女子高生の花が咲く／北は奇妙な匂い漂う理科教室／その東の汗くさい部屋から／階段を下りると砲丸投げにご用心／ラゲビー・野球の邪魔をすな／東端の桜並木／春爛漫の脱走路／ああ師友校舎校庭の幻よ／残るは正門／続く松とヒマヤ杉／平生像と運動場階段／新しいのは／昼間にアモーレのカップルたち。



▲昭和13年の阪神風水害で被害を受けた校舎の復旧作業



中井久夫先生

神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職、4月より「兵庫県こころのケアセンター」所長に就任。「精神医学の経験」全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。



インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>





「恩賜の杖」(鳩杖はとづえ)

鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生汎三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいています。

## 鳩杖



敗戦直後の甲南／二両電車はぎゅうぎゅう詰め  
／英語の先生は肋骨を折った／少年狙いの痴漢  
が出た／しかし尋常科生は車内でピーチクパー  
チク／ビールを飲んだと得意気に語る／おっと  
背後に体調平氣の某先生／「いいものをお飲み  
になりましたネ」と独特の抑揚／だが先生も今  
は天国／封鎖預金・財産税・農地改革の時代／  
皆お腹を空かして弁当箱は二時間目には空／  
帰りは天上川そばのアイキャン屋／おごりおご  
られ水腹で帰る／甲南堂によるのも日課／店  
主は甲南中の先輩で立ち読み黙認／岡本への最  
後の三叉路の古書店／そとブラックの画の本  
物をみせてくれた／転売の途中だった／空襲焼  
け出されの先生方は所持持ちは住吉川べりの甲  
南寮／独身は学校の空き部屋／メリケン粉が命  
の綱だが／生徒が遊びに行くとは後はどうされ  
たか／高等科三年末の某医大受験／有力者紹介  
状の有無を窓口で聞かれて席を蹴った甲南生は  
／実は大市長の息子だった／別の甲南生は自治  
委員長／面接で首をひねられた／生徒課長※  
はさっそく駆けつけ「甲南の教育を信用してい  
ただきたい」と氣迫をこめた／相手の教授は深  
くうなづいたと／老いた元生徒が感銘をこめて  
私に語った。

※後に京大教授になった生物学の高谷教授。



▲旧制高等学校運動会



中井久夫先生

神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9  
年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校  
を経て昭和34年京都大学医学部卒。精  
神医学者として治療と研究に従事する。  
平成9年4月から文学部人間科学科  
教授。平成16年3月に甲南大学を退職、  
4月より「兵庫県こころのケアセンター」  
所長に就任。「精神医学の経験」全8巻  
他、著・翻訳書は多岐にわたる。



KONAN

インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>





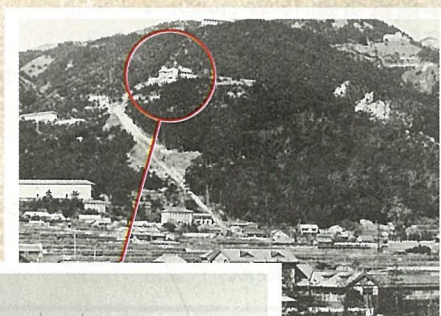
「恩賜の杖」(鳩杖はとづえ)

鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生鈆三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいています。

# 鳩杖



近くて遠いは甲南裏山／昔はあみだ山といわれたとか／椎・檜・椿・ウバメガシ／昼なお暗い照葉樹林／あそこに母校がとるき目印／けれどもきみは登ったかい？／下水からはいったが五メートルで挫折／いくらなんでも急勾配／山を巻く道を辿れば「にらくそ」の木札／行く手遮る鉄条網／跡地を畑を耕す番のおばさん／これぞ「二葉荘」／西本願寺大谷光瑞師の命名で／須磨月見山の別邸を明治帝に望まれ／甲南の地に新居を卜す／海と山とを二つながら楽しむ意／インドふうの大建築／大谷西域探検隊の文化遺産を収め／学者・皇族・華族の訪問しきり／上り下りはケーブルカー／さらに武庫中学を併設／だが寿命は長くなかった／一九〇九年完成／二六年久原財閥の手に／三年不審火で全焼／別世界ゆえ消防車到達不能／甲南学園にとの話もあった／実現すれば毎日急坂／遅刻が続出つてことにならないか／だが甲南との縁は続く／旧大谷中学の事務室が甲南の講堂／学園誕生の記念物は敗戦後まで残った／甲南生だった法主もおられる／今も山上に五重塔／中腹にはすさのお神社／何かなし聖なる感じがあるか／さて探検隊の財宝は？／寄付先の大連、ソウルに健在とか。



中井久夫先生  
神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職。4月より「兵庫県こころのケアセンター」所長に就任。「精神医学の経験」全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。



▲初期の甲南生にとって思い出多い二葉荘



インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>





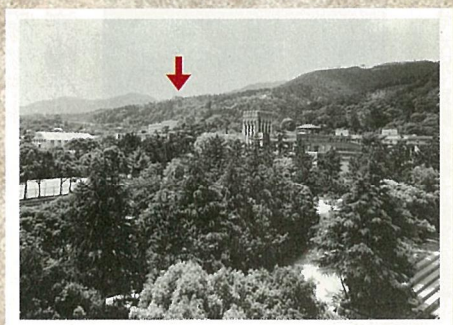
「恩賜の杖」(鳩杖はとつえ)

鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生汎三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいています。

# 鳩杖



甲南大の西部校舎の背にはヘルマン山／今は高級住宅地／されどそもヘルマンとは何者ぞや／今は昔ドイツはヴェルヘルム二世の御代／ジーマンズ社極東総支配人／二山全部を屋敷にして／西宮から戻る自動車の前を探照灯で照らした／それも道理／帝国海軍ご用達／戦艦「金剛」は当時世界最大最速の二万七千トン／一九二二年完成／最後の英国製／おそろく大儲けしたが／ついに起こった「ジーマンズ事件」／一九二四年英国が暴露／某中将以下収賄で縄つき／海軍の父山本権兵衛首相辞職／日本海海戦勝利のおこりか／ヘルマンは風を食らって故国に逃走／第一次大戦始まって／英国は「金剛」級四隻購入申込み／断つた日本は「ワシントン条約」で新艦建造中止・旧艦改造／「金剛」は艦尾伸ばして速力増大／機動部隊高速空母の随伴艦／ハワイ・セイロン・ミッドウェー／火の海にしたガダルカナルの米飛行場／レイテ沖では米空母にもつとも迫る／「長門」「大和」を尻目の大活躍／だがその帰途敢えなく米潜水艦に台湾沖に沈む／これより先に無人の屋敷も焼失／戦争直後に探検した／残るは高い暖炉の煙突とぞつとする深井戸／これじゃ消火は無理／以前の松山に戻るかとみえたが／海軍の汚点の記憶去つて平和な町になった。



▲ヘルマン山(1947年頃)



中井久夫先生

神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職、4月より「兵庫県こころのケアセンター」所長に就任。「精神医学の経験」全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。



KONAN

インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>





「恩賜の杖」(鳩杖はとづえ)

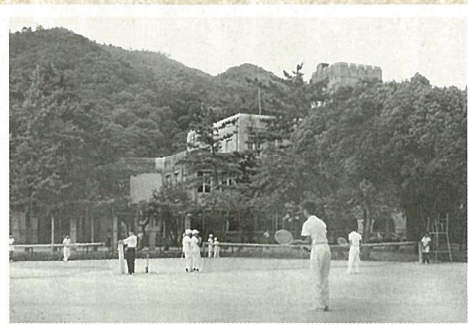
鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生汎三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいています。

## 鳩杖



冬 思い出す甲南の四季／冬は電車がひととき  
混雑／着ぶくれた誰彼が薄氷踏んで／ポケット  
ハンドに背を丸め／上級生への礼もそこそこに  
／寺の脇をば駆け上がる／着席すれば茅渚(ち  
ぬ)の海／窓辺に静まる冬の波／金剛・葛城の  
山ひだも／大阪・堺の発電所・ガスタンク・煙突  
も／手にとる近さの水平線／やがて見張りが「ド  
ンコ来襲！」／さて午後は何よりも運動部／大  
階段の上より望めばグラウンドに／冬の陽早くも  
傾いて／途絶えぬ叫びはラグビー部／「嵐と狂  
う北風の／六甲(むこう)の麓に球を蹴る」／さら  
に陸上部のドッドツという足音に／野球部のカ  
ーンという響き／正門右手のテニスコートは／  
乾いた球音 審判の声／甲南の裏山は冬枯れて  
／春待ちかねる思いあり／その春までに／期末  
試験で／山が当たらず青さめる／半ば覚悟の  
／ああ及落会議／いつの間にか仲間が集まり／  
三々五々と木陰にたむろ／見上げる本館の窓  
辺の明かり／待ちくたびれたその果てに／つい  
に出てくる教授連／駆け寄っては口々に「ぼく  
通つてますか」「誰それは？」／さつそく電話の  
あわて者／「おい、お前通つとったぞ」に相手は  
ムサる／あわて者は早くあの世に引越し／残  
る恩師も数少なく／ドンコ先生もとうに(合掌)。  
\*ドンコは小林宣光教授。鹿児島出身の酒豪であった。

▶ テニスコート



中井久夫先生

神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9  
年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校  
を経て昭和34年京都大学医学部卒。精  
神医学者として治療と研究に従事する。  
平成9年4月から文学部人間科学科  
教授。平成16年3月に甲南大学を退職、  
4月より「兵庫県こころのケアセンター」  
所長に就任。「精神医学の経験」全8巻  
他、著・翻訳書は多岐にわたる。



KONAN

インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>





「恩賜の杖」(鳩杖はとづえ)

鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生汎三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいています。

## 鳩杖



春 早春のその日は雨だった／入試仲間と駅を降りれば／なお風水害の跡著しくて／僅かに残る白梅の／古い木の蕾もなお固く／大きな石が道を塞いで／正門の門柱は低く校名は横書きと／今に替わらぬ趣きだが／本館の塔屋に迷彩が残り／柳の老樹たちが小さい芽吹いて／本館と西館の通路で／うつうつ過す休み時間／やがて発表／隣の小学校の合格組が／テリヤを連れてやってきた／敵同士の赤帽と白帽／昨日の敵は今日の友／しかし入学直後の発疹チフス／さつそく休校拍子抜け／やがて通学電車の中は／ピーチクパーチクパーチクと／今に変わらぬ新人生／ひんしゆく買うおふざけおどけ／やがて帽子に白線が入り／うつろう習い春三年(みとせ)／若き心を忍ばず暇なく／あつという間に卒業式／浮世に採まれて50年／思わぬ甲南再訪問／駅を降りれば花吹雪／錯覚かもよパンの香り／ガーデニングの家々に／猫の群れ居る桜公園／昔ながらの天上川／十二間道路をバス走り／櫛並木の14号館／生協書籍部の品揃え／甲南教師の力作並ぶ／やがて竣工18号館／湧水流れる中庭に／静かな僧院のたたずまい／だがキャンパスは至るところに過去のまばろし／一巡訪ね終わって／ホテル出店の白い喫茶に憩えば／これぞ甲南の今の春景色。



▲リニューアルした白い喫茶「カフェ・パンセ」(5号館)



中井久夫先生

神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職。4月より「兵庫県こころのケアセンター」所長に就任。「精神医学の経験」全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。



インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>





中井 久夫 先生／神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職、4月より「兵庫県こころのケアセンター」所長に就任。『精神医学の経験』全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。

# 鳩杖

新入生モクラブに少し馴染み／お辞儀の対象だった(留年した)先輩も新しい友情に

溶け込むころ／甲南の野に春が深まって／初夏も過ぎ／夏がにわかに来て／

女学生は衣替え／大阪湾は濠気に霞み／六甲の峰に逞しい入道雲が並んで／

校門の脇に三色ウツギが咲く／そこで某先生が下を帰る生徒の悪口を隠れて待ってた／

この伝説はほんとな／平生さんの銅像に木漏れ陽が揺れ／浪甲戦の季節となって／

応援歌の練習だ／今はなき浪高の同窓会は震災義援金数百万円／熱い気持ちを頂いた／

今は灘甲戦に学習院戦か／散策がてらに左の脇道の敷石をとんとん登る／

東洋一のバスケットコート跡に旧制高校の記念碑／白線帽の神様たちの名前が並ぶ／

図書館前の日本庭園／しだれ桜に九鬼家の日時計／九鬼文庫は図書館二階／

目録は佐藤教授の労作／戦没船のモデル作りに／鎮魂の思いを籠める哲学者／

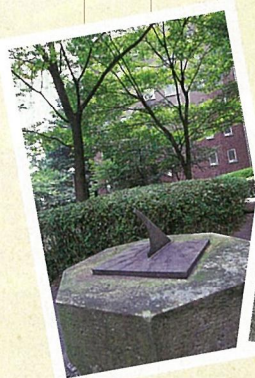
大先輩だ／仮設校舎の苦難の日々もいつしか遠く／新しい建物は／

白亜城の面影あって／松もヒマラヤ杉もありし日のまま／運動場の北の木立に／

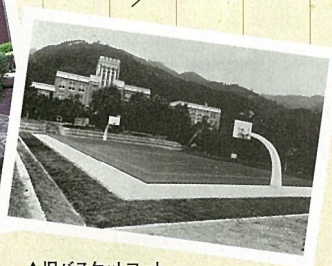
新しい道遙の場が生まれ／日曜日のキャンパス地域解放には／

そこに球蹴る子どもの歓声／緑陰を背に／「子供と遊ぶ会」の

パシユート作りに子どもの輪が広がって／今の甲南の夏が深まる。



▲九鬼家の日時計



▲旧バスケットコート



「恩賜の杖」(鳩杖・はとづえ)：鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生鈇三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいています。



インターネットで甲南へ <http://www.konan-u.ac.jp>





中井 久夫 先生／神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職、4月より「兵庫県こころのケアセンター」所長に就任。『精神医学の経験』全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。

## 鳩杖

夏休みの終わりはいつもわびしく／山岳部の夏山の記憶も急に遠ざかって／

登校の足取りも鈍りがち／校庭のイチヨウが黄ばみだして／中間試験が終わると／

暮れるに早い夕まぐれ／放課後残って文化祭の準備／展示の相談さっぱり進まず／

焼き芋ピーナツが減るばかり／結局未来都市か世相箱／趣味の展示は模型鉄道／

玄人はだしの絵画班／滴定させるは化学班／フェノールフタレインで色変わり／

物理班はウィルソン霧箱／古い機械に素粒子が通る／生物班はカエルの発生／

なんだか不思議な処女生殖／世界の岡田の若き日だった／ESSはシェイクスピア／

ドイツ語クラブはファウスト／もっともらしく聞こえたせりふ／女役ももちろん男子／

スカーフかぶって茶色の毛糸／さまにならぬは先刻承知／大道具が早くも壊れる／

衣装が合わぬ組もある／創作劇は小松左京の作品／筋はさっぱり分からぬままに／

どんどん話が進んで／とにかく最後はみんな狂って幕となる／

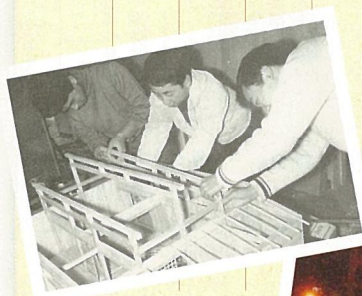
割当てられたは開幕の弁／全員発狂で芝居中止と／羽織袴で中央より登場／

やおら壇に立つが／けっこうやってきた女学生／

最前列は全員女子／一瞬おいて大笑い／演劇班はさすがに本物／

悠々演じる「商船テナシティ」／拍手はしばし鳴りやまなかった。

※岡田節人(ときんど)氏。1947年旧制甲南高等学校理科卒業、  
現在、J-T生命誌研究館館長・京都大学名誉教授。



▲摂津祭展示準備  
(1968年頃)



▲摂津祭 キャンプファイアー  
(1967年頃)



「恩賜の杖」(鳩杖・はとづえ)：鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生鈆三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいています。



インターネットで甲南へ <http://www.konan-u.ac.jp>





中井 久夫 先生／神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職、4月より「兵庫県こころのケアセンター」所長に就任。「精神医学の経験」全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。

## 鳩杖

七年制高校は大正デモクラシーの申し子／とは経済学者・森嶋通夫氏の言／

文部官僚の目の仇／留年率を官立高校の倍にせよ／学年毎に一割落とせ／

経営難なら国立に／その代わり三年制だ／小規模校の甲南は／坊ちゃん学校といわれつつ／

学者と医者になる率もつと多く／ユニークな起業家も多かった／

東京転校生は七年制の東京都立高校に／大阪府立浪速高校・学習院高等部とも交流があった／

敗戦が満鉄株を紙屑にして／基礎財産をなくした甲南に／占領軍の学制改革／

尋常科の帽章は「高」から「中」になり／高等科一年から新制大学に進む学年も出た／

甲南は今後如何にあるべきか／鶏の口となっても牛のお尻となるな／新制高校だ／

いや新制大学よ／今はないないづくしだが／20年後をみてくれと／塩見講堂での生徒会／

教授会も理事会も／さぞ侃々諤々だったろう／さて新制甲南大学の源流は／

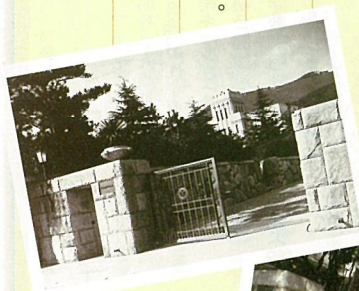
剣道道場改造の二教室／ビール瓶ふりふりユーザーシャル／

外に聞こえる大声だった／今は昔で夢のよう／よくぞ岡本の地に留まった／

甲南は今元気ですねと／東京の出版界で挨拶される／

米国の友人は今／七年制高校物語を聞いて／

わが国の政策は誤りだったと皆認めるが半世紀遅かったではないか。



▲旧制甲南高等学校正門  
(1942年頃)



甲南大学正門 ▶  
(2006年)



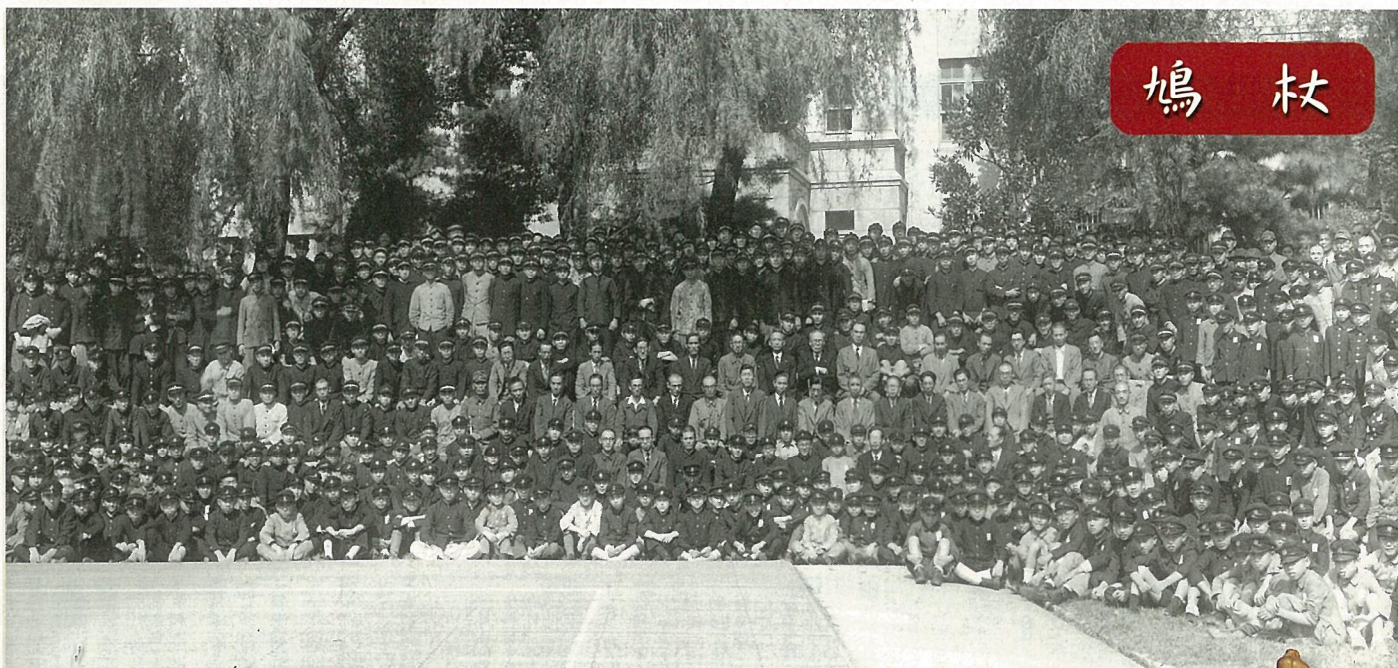
「恩賜の杖」(鳩杖・はとづえ)：鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生鈇三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいています。



インターネットで甲南へ <http://www.konan-u.ac.jp>



# 鳩杖



▲1944年10月9日 平生校長退任式記念「平生先生と全生徒・教職員」



中井 久夫 先生

神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職、4月より「兵庫県こころのケアセンター」所長に就任。『精神医学の経緯』全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。

甲南出てから五〇年／大学では小規模校出身者／  
 広い世界で小さくなったか／いやよくまとまって／よく遊び／  
 それぞれ自分の意見をよくしゃべる／陽性の集団／競争・野心と無縁／  
 話題豊富で冗談大好き／いつか同好の士が集まって名誉甲南生を名乗る／  
 北大寮歌と交換に逍遙歌を教えたら／何とも繊細とよろこばれた／  
 専門世界じゃさすがに少数派／だけど集まる七年制高校卒／  
 東京都立に成溪成城／集まるとそれぞれの寮歌／  
 その間もクラス会は続いた／重病の友が必死で訪れたことも／  
 グループもそれぞれに鍋を囲んだ／卒業後に始まって生涯の友となり／  
 主人も甲南ですのよといわれたり／甲南の網は卒業後も広がる／  
 同級生が支え合う／クラブの先輩が後輩の相談にと／  
 甲南の輪は人知れず続く／活躍の時期が終わって旧交を温める／  
 時に亡き友を偲びつつ／「一修」の学年は友誼特に厚そう／  
 高一修了で新制大学に移らされた学年の無念／  
 敗戦直後の甲南と周辺の図を／会誌に載せた／  
 焼け跡に暖炉の煙道だけがぼつぼつと／  
 その向こうはすぐ海だったあの時代。



「恩賜の杖」(鳩杖・はとづえ)：鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいています。



インターネットで甲南へ <http://www.konan-u.ac.jp>



震災直後に駆けつけた／創立以来の建物は無残だったが／復興成ったところ／

母校の文学部の教師に呼ばれた／旧友の教授もあり／時々には話に呼ばれていた／

全国の大学から院に來た子は「同級生」と私を呼んだ／一四号館のけやき並木に石畳／

そこで野外授業をした／学生相談室だった民家／春には桜の落花が渦巻いたがそれは／

早くも過去のアルバムに入り／立派な一八号館が完成／現代の僧院ふう／

繊細な設計／湧き水豊かに中庭に流れ／シックなカウンスリングルームに／

学生相談室／全文系で唯一一つ学術フロンティア計画に選ばれ／

業績は今も続き／教員先生も院生も和やか／臨床系と思索系／

七年は瞬く間に過ぎた／初心の文系教員の私めは／甲南だからこそ迷惑かけつつとまった／

若き日より時はずつと早く過ぎた／新築が次々に建っても／

創立以来の面影を残す配慮／これが母校という感覚がある／

卒業生の活躍を聞くのが楽しい／師弟の縁に恵まれた人のひとしお／

烈しい転形期にもまけずと立ってほしい／われら亡き後でもできれば今の地で。



中井久夫先生

神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職。4月より「兵庫県こころのケアセンター」所長に就任。「精神医学の経験」全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。



1号館

ご好評をいただいております、中井久夫先生の「鳩杖」は、今回をもちまして終了いたします。ありがとうございました。



「恩賜の杖」(鳩杖とはとづえ)：鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生飢三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいています。



KONAN

インターネットで甲南へ <http://www.konan-u.ac.jp>